

歳入 123 億 4920 万 1 千円

一般会計

平成28年度

決算

地方交付税 (22.9%)
28 億 3334 万 7 千円
一定の行政サービスの水準を維持するために国から交付されたお金

町税 (29.5%)
36 億 4668 万 8 千円
町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税

町債 (13.4%)
16 億 5323 万 2 千円
建設事業などに対して借り入れたお金

繰越金 (7.1%)
8 億 7291 万 7 千円
前年度からの繰越金

国庫支出金 (10.3%)
12 億 7364 万 6 千円
国からの補助金など

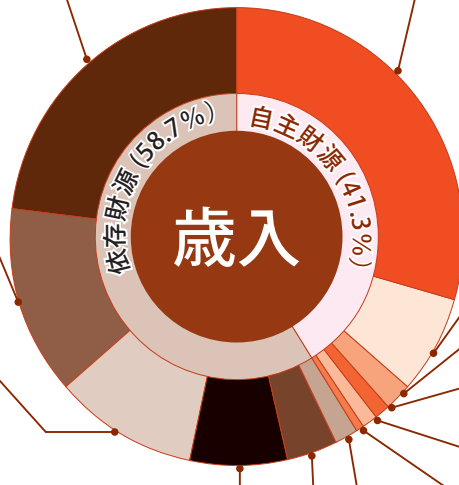
使用料及び手数料 (1.8%)
2 億 2081 万 3 千円

県支出金 (6.7%)
8 億 3284 万 8 千円
県からの補助金など

分担金及び負担金 (1.2%)
1 億 4947 万 8 千円

地方消費税交付金 (3.8%)
4 億 7452 万 1 千円
地方消費税のうち町に交付されたお金

繰入金 (1.1%)
1 億 3067 万 1 千円
基金の取り崩しなど



地方譲与税ほか (1.5%)
1 億 8644 万 1 千円

※構成比の合計は、端数処理の関係で100%にならない場合があります。

平成28年度会計別決算

(▲はマイナスを表す)

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	123 億 4920 万 1 千円	118 億 4263 万 7 千円	5 億 656 万 4 千円	
特別会計	国民健康保険特別会計	43 億 9249 万 9 千円	38 億 2444 万 5 千円	5 億 6805 万 4 千円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	559 万 9 千円	559 万 9 千円	0 千円
	公共下水道事業特別会計	14 億 2238 万 7 千円	14 億 2238 万 7 千円	0 千円
	後期高齢者医療特別会計	4 億 3190 万 2 千円	4 億 3122 万 6 千円	67 万 6 千円
	介護保険特別会計	26 億 9390 万 3 千円	25 億 8095 万 9 千円	1 億 1294 万 4 千円
	磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計	1311 万 8 千円	1289 万 9 千円	21 万 9 千円
	企業会計	収入額	支出額	差引額
水道事業会計	収益的収入及び支出	8 億 8628 万 5 千円	8 億 4791 万 4 千円	3837 万 1 千円
	資本的収入及び支出	4820 万 1 千円	2 億 479 万 5 千円	▲1 億 5659 万 4 千円

平成28年度の決算が平成29年町議会第3回定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた大切な税金などが住みよいまちづくりにつながるように使われたのか、その概要を紹介します。

財政課 財政係 ☎ 34・2072

性質別歳出

補助費等 (17.6%)

一部事務組合への負担金や
各種団体補助など
20 億 7882 万 3 千円

扶助費 (17.0%)

高齢者、障がい者、児童へ
の援助など
20 億 755 万 6 千円

人件費 (15.8%)

職員の給与、議員報酬など
18 億 7581 万 8 千円

物件費 (15.1%)

委託料、光熱水費、事務用
品などの消費的な支出
17 億 8628 万円

繰出金 (13.8%)

他会計への支出
16 億 3664 万円

公債費 (10.3%)

町債の返済など
12 億 1996 万 5 千円

普通建設事業 (9.2%)

道路や公園の建設など
10 億 8946 万 2 千円

維持補修費など (1.2%)

1 億 4809 万 3 千円

歳出合計

118 億 4263 万 7 千円

歳出 118 億 4263 万 7 千円

商工費 (0.4%)

5091 万 7 千円
商工業、観光の振興など

議会費 (1.1%)

1 億 3111 万 2 千円
議会の運営

農林水産業費 (2.0%)

2 億 3815 万 6 千円
農業振興、生産基盤
整備など

消防費 (4.4%)

5 億 2567 万 4 千円
消防、防災など

公債費 (10.3%)

12 億 1996 万 5 千円
町債の返済など

総務費 (10.6%)

12 億 5087 万 7 千円
庁舎管理、徴税、戸籍、
選挙、統計など

教育費 (11.0%)

12 億 9734 万 8 千円
学校教育、生涯教育、文化・
スポーツ振興など

民生費 (30.1%)

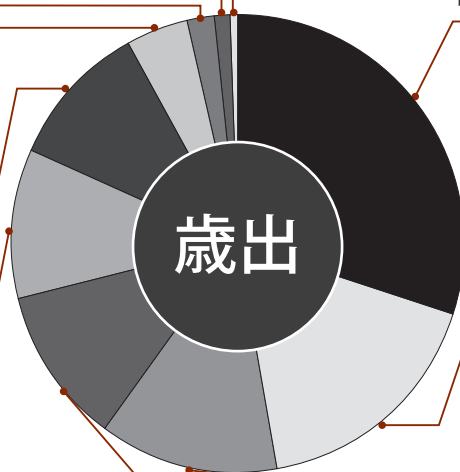
35 億 6680 万 8 千円
高齢者、障がい者、児童の
福祉の増進、人権啓発など

衛生費 (17.2%)

20 億 3144 万 7 千円
健康づくり、ごみ・
し尿処理など

土木費 (12.9%)

15 億 3033 万 3 千円
道路・河川整備、都市
計画、住宅など



一般会計

実質的収支は

4 億 5151 万 7 千円の黒字

単年度収支は

3 億 3504 万 4 千円の赤字

一般会計は、歳入歳出差し引
き額が 5 億 656 万 4 千円とな
り、翌年度に繰り越すべき財源
5504 万 7 千円を除くと、実質
的な黒字は 4 億 5151 万 7 千円
となりました。しかし、前年度の実
質的な黒字が 7 億 8656 万 1 千
円でしたので、これを差し引いて
単年度だけの収支でみた場合には、
3 億 3504 万 4 千円の赤字となり
ます。歳入のうち、国から交付され
る地方交付税や地方消費税交付金な
どの交付金が前年度に比べ減少した
ことが主な要因です。なお、歳入で
最も大きな割合を占めるのは町民の
皆さんが納めた町税で、前年度並み
の約 36 億 4700 万円となりました。

特別会計

6 つの会計決算はすべて黒字

特別会計とは、特定の事業を行う
ための経費を一般会計と区別する必
要がある場合に設置する会計で、6
つの特別会計の決算額は右表のと
おりです。なお、住宅新築資金等貸付
事業特別会計は、事業の終了に伴い
平成 28 年度で廃止しました。

水道事業会計

収益的収支は

3537 万 2 千円の黒字

独立採算で運営を行う公営企業
に水道事業があります。決算額
は右表のとおりです。収益的収支
は損益計算による当年度純利益が
3537 万 2 千円生じ黒字決算と
なりました。なお、資本的収支は
1 億 5659 万 4 千円の不足が生じ
たため、過年度分損益勘定留保資金
や積立金などで補填しました。

平成28年度実施事業の一部を紹介

平成28年度に行った事業の一部を、第3次総合計画の6つの基本施策分野ごとに紹介します。

1 共に幸せを感じられるまちづくり

子ども医療費助成事業

5761万2千円

子どもの健康保持、福祉の増進を図るために子ども医療費の助成を行っています。昨年の8月診療分から対象を拡充し、小・中学生の通院についても助成を開始しました。

臨時福祉給付金給付事業

1億700万5千円

国の施策として、低所得者への消費税率の引き上げによる負担を緩和するための臨時福祉給付金、低所得の高齢者を対象にした年金生活者等支援臨時福祉給付金の給付を行いました。

2 人が生きいきと輝くまなびのまちづくり

幼稚園園舎の耐震補強工事

8526万7千円

耐震診断の結果、早急に補強が必要な田原本・南・平野幼稚園の園舎7棟について、緊急耐震補強工事を実施しました。

幼稚園預かり保育モデル事業

175万円

幼稚園教育の機会充実と子育て支援を目的に、昨年9月から田原本幼稚園において、預かり保育モデル事業を実施しました。このモデル事業では、保護者のニーズの把握や課題を抽出し、事業の拡大を図りました。

3 都市基盤が充実したまちづくり

交流促進施設（道の駅）整備事業

2億7322万4千円

唐古・鍵遺跡史跡公園と連携し、来訪者と地域住民のふれあいや交流の場、観光などの情報発信の拠点として、交流促進施設（道の駅）の整備を進めています。平成28年度は、用地の購入や造成工事、施設的设计を行いました。



▲交流促進施設イメージ図

4 快適に生活できるまちづくり

唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業

6117万7千円

平成30年春の開園に向けて、国史跡唐古・鍵遺跡を史跡公園として整備を進めています。平成28年度は、園路の舗装工事を行ったほか、遺構展示施設の建設工事に着手しました。



▲唐古・鍵遺跡史跡公園

新たなごみ処理施設の整備に向けた取り組み

10億3559万7千円

本町と御所市、五條市の3市町で構成するやまと広域環境衛生事務組合で整備を進め、今年の6月に完成した「やまとクリーンパーク」の整備に係る費用を負担しました。

5 活力湧き出る産業振興のまちづくり

農業経営基盤強化促進事業

1155万1千円

担い手の効率的かつ安定的な農業経営を行うために必要な経営規模の

企業等の誘致・立地推進事業

351万8千円

産業基盤の強化と持続的な発展、雇用の創出を図るため、町内に立地する企業の支援を行いました。

6 効率的な計画推進をめざしたまちづくり

第4次総合計画策定事業

808万7千円

町の最上位計画である総合計画の第3次計画期間が平成28年度で終了することから、平成29年度から10年間のまちづくりの長期的な展望を示し、本町の総合的、計画的な行政運営の指針となる第4次総合計画を策定しました。

証明書コンビニ交付導入事業

2644万円

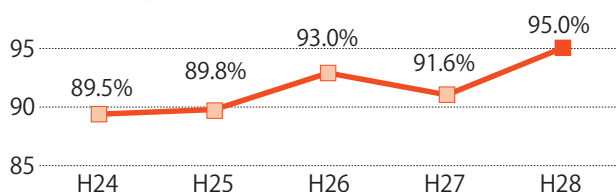
平成29年4月からマイナンバーカードを利用して全国の指定コンビニエンスストアで住民票の写しと印鑑登録証明書の交付を開始するため、システムの導入を行いました。



指標でみる財政状況

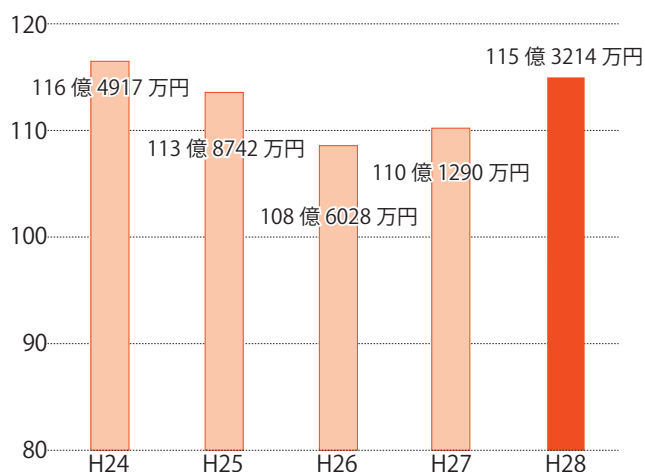
経常収支比率 95.0%

財政構造の弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が人件費や公債費などの経常経費にどれくらい充てられているかを表しています。平成 28 年度は、分母である歳入(普通交付税や地方消費税交付金など)が大幅に減少したため、前年度に比べ 3.4 ポイント上がりました。



町債残高 115 億 3214 万 4 千円

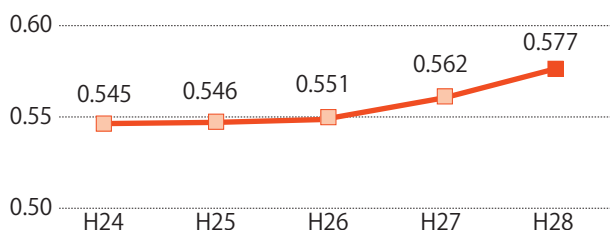
町債残高(普通会計)は平成 16 年度をピークに毎年減少してきましたが、新清掃工場などの大型事業の実施に伴い平成 27 年度に増加に転じ、平成 28 年度についても新清掃工場や交流促進施設(道の駅)などに町債を活用したことから、前年度に比べ約 5 億 1900 万円増加しました。



※普通会計とは、一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計などを合わせた会計です。

財政力指数 0.577

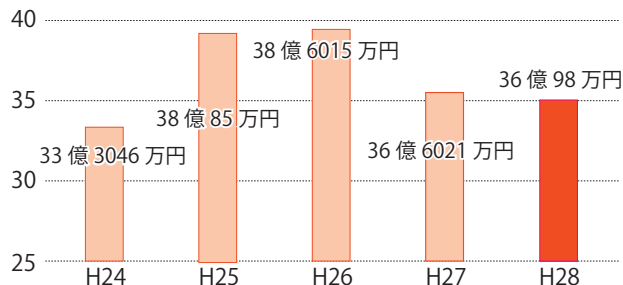
標準的な行政経費に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表すもので、指数が高いほど財源に余裕があることを示します。ここ 5 年間は 0.55 前後で推移しています。



基金残高 36 億 97 万 6 千円

普通会計には、純粋な貯蓄といえる財政調整基金・減債基金、また、特定目的のための福祉基金・ごみ処理施設整備基金・住宅新築資金等運用基金・ふるさと応援基金があります。

減債基金については、中継施設に係る町債に対して県補助金約 6300 万円が一括して交付されましたので、返済に応じて取り崩すために積み立てを行いました。また、新清掃工場建設のためにごみ処理施設整備基金約 1 億 2400 万円を取り崩し、住宅新築資金等運用基金の廃止に伴い全額(約 560 万円)を取り崩したことなどから、基金全体では前年度に比べ約 5900 万円減少しました。



決算書を閲覧することができます

町がどのような事業を行ったかは、決算書に掲載されています。

この決算書は、町役場 1 階広報課や図書館で閲覧することができます。

